



怪奇の潮流が渦巻く孤島に
金田一耕助
最大の事件が待っていた…

名匠市川 崑が横溝シリーズ三作目にして
遂いに極めた華麗なる頂点!



石坂浩二
司 葉子
大原麗子
大地喜和子
草笛光子
浅野ゆう子
ピーター
坂口良子
加藤 武
上條恒彦
松村達雄
大滝秀治

三木のり平

東野英治郎

佐分利 信

製作■市川 崑

■田中 収

脚本■久里子亭

(日高真也)

(市川 崑)

サントラ盤■東宝レコード

東宝映画作品

東宝配給

東宝

西郷銅像下

上野東宝

TEL831-2759

横溝正史原作 角川文庫版

市川 崑監督作品

石坂浩二主演

カラー作品

企画■角川春樹事務所

獄門島

ごくもんどう

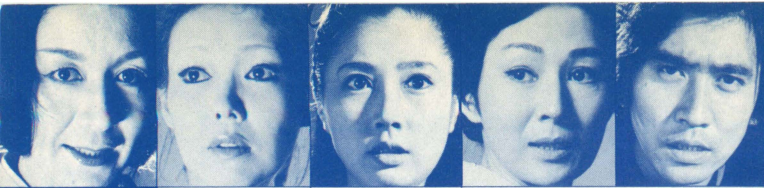
8月27日(土)より大公開

特別ご鑑賞券発売中

ヒビヤ
千代田劇場
TEL591-1716

ハチ公前
渋谷宝塚
TEL461-8779

西郷銅像下
上野東宝
TEL831-2759



ごくもんとう 獄門島

横溝正史原作(角川文庫版)
市川 崑監督作品
石坂浩二主演
《カラー作品》
企画■角川春樹事務所

■スタッフ
製作 市川 崑
原 田 中 正 史
企 画 角川春樹事務所
脚 本 久 里 真 子
(市川 崑 監) 監 録 美 術 影 音 監 録 監 録 監 録 監 録
サントラ 盤・東宝レコード

■キャスト
金田一耕助・石坂浩二
早苗・大原麗子
お小夜・草笛光子
勝野・太地喜和子
鬼頭嘉右衛門・東野英治郎
与三松・内藤 武敏
月代・浅野 ゆう子
雪枝・中野 七枝子
花子・一ノ瀬 康子
了然和尚・佐分利 武信
等々力警部・加藤 武

■かいせつ

「犬神家の一族」「悪魔の手毬唄」と、日本列島の話題をさらった原作「横溝正史、監督・市川崑、主演・石坂浩二の名トリオが、三たび放つ横溝ミステリー！シリーズの決定版です。
瀬戸内海のほぼなかに、獄門島」と呼ばれる小島がある。

奇妙な名の島の風物と封建的な古い因習―その中で網元の二大勢力、本鬼頭と分鬼頭が対立する。獄門島へきた金田一耕助が、またまた妖気と邪知にみちた連続殺人事件にまきこまれた……。
波乱のストーリー、意外な人物設定、俳句と殺人事件の巧妙な結びつきは前二作をしのぎ、名匠・市川崑監督がシリーズの決定版として意欲を燃やす超娯楽大作です。

■ものがたり

昭和二十一年九月下旬―戦地から帰国の途中、引き揚げ船の中で死亡した鬼頭千万太の遺書を、金

《スタンダード・カラー作品》



田一耕助があずかり「獄門島」の千光寺・了沢和尚へ届けにきたことから、謎の連続殺人事件が、この陰惨な島をおそった。
金田一耕助が「獄門島」へきて三日目に行なわれた千万太の通夜の日に、不気味な第一の殺人事件が起った。

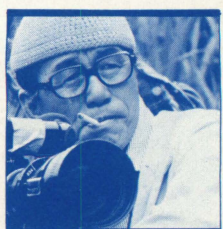
死んだ嘉右衛門の妾で、いまは本鬼頭家で女中のように働いている勝野が、三姉妹の着替えを終えた直後、三女・花子の姿が謎のように消えたのだ。
その花子は、夜、千光寺の梅の古木に自分のしめていた帯で逆さ吊りにされ、殺されていた。
その翌朝、金田一耕助は、花子殺害の重要容疑者として清水巡査に逮捕され、留置場に入れられてしまった。

その間隙をぬうように、無残な第二の殺人事件が起った。次女の雪枝が、海に向って天狗の鼻のように突きでた岸の上に置かれている千光寺の吊り鐘の中で、死体となって発見された。
そして、花子、雪枝の葬儀の夜、長女の月代までが、かつてお小夜が祈禱した祈禱所の中で絞殺されたが、その死体には、なぜか、萩の花びらがふりまかれていた。

犯人はなぜ三人姉妹を絞殺したあげく、梅の古木に逆さ吊りにしたり、吊り鐘の中に入れたり、死体に萩の花びらをふりかけたりする必要があったのだろうか……。

この猟奇的な殺人事件の解決にひとり苦しむ金田一耕助は、ふとしたことから「極門」こと鬼頭嘉右衛門が書き残した千光寺の屏風の色紙の三つの俳句「鶯の身をさかさまに初音かな」(芭蕉)「むざんやな胃の下のきりぎりす」(芭蕉)「一つ家に遊女も寝たり萩と月」(芭蕉)の中から、意表をついた事件の糸口をつかんだ……。

怪奇の潮流が渦巻く孤島で三人姉妹を殺害した犯人は……？その動機は……？長い歴史の中で、妖気と邪知にあふれた連続殺人事件を解明する鍵は……？いま、金田一耕助の鋭い推理と追求がはじまる――



市川 崑監督

横溝さんの本格長編を映像化するのも「犬神家の一族」「悪魔の手毬唄」につづいて、こんどの「獄門島」で三作目ということになるが、内外の探偵小説を愛好している私としては、なにか運命的なものを感ずる。

「獄門島」の俳諧と連続殺人を結びつけた純日本的とでもいふべきトリックの創意は、実に画期的なもので横溝さんの代表作だと思ふ。映像化にあたっては、閉鎖的な思想と習慣が満ちている孤島を背景に、戦争が終って、権威というものが崩れ去ったが、その影響から逃れられなかった人たちが、因襲を断ちきって新しく呼吸しようとする人たちの明暗と、苛酷な運命に翻弄される親と子の情念に視点をあてたわけだが、そのために横溝さんの了解を得て、今回だけ犯人を変えたのが特徴といえる。また、金田一耕助のさわやかな客観性、ドラマに深くかかわりを持つのも、新しい試みの一つでもある。ともあれ、映画独自の深い空間と、快適なリズムを生かして、面白い作品に仕上げたいと思っている。